

# かわいい学生には旅をさせよ

崇城大学工学部ナノサイエンス学科 自立型海外研修  
2015年8月29日～9月5日 バンコク



ナノサイエンス学科では3年次集中講義科目「学外実習（工場見学）」を設けている。2015年度自立型海外研修としてタイに立地する日系企業の訪問と現地で活躍する邦人や現地従業員との交流を行った。就職活動を前にした3年生に国際的な広い視野を持たせるとともに、自立心を活性化させることが目的である。

6月から参加希望者を募集し、男子12名女子4名、合わせて16名が参加した。そのうち14名は初めての海外経験であったが、全員が研修全日程をトラブルなく完遂し、大きな成果を持って帰国した。

協力：日本貿易振興機構(JETRO Bangkok)、リクルートホールディングタイ法人、TEPPEN (Thailand) Co.Ltd, DAIDO Press forming Co., Ltd., SHIZCON FA Co., Ltd., (株)ラーニングバリュー 他タイで活動している20名以上の個人の方々

## 自立型海外研修の活動目標

- ・コンフォートゾーンを離れて自立し、主体性を持って行動する
- ・安全性に配慮した行動をする
- ・メンバー同士助け合いながら行動する
- ・グローバルに活躍している多くの人たちとふれあう
- ・海外から見ることにより日本の長所、短所に気づく
- ・国際的な広い視野を持って自分のキャリアー選択を考える

## ルール

- ・航空便とホテルはインターネットから自分で予約する
- ・現地集合現地解散
- ・市内では公共交通機関を使って自分達の手で移動（タクシー不可）
- ・自由時間は自ら計画して責任ある行動をする



JETROブリーフィング  
(タイおよび東南アジアの経済状況)



リクルートタイ法人ブリーフィング  
(グローバルに働くことについて)



アマタナコン工業団地見学



SHIZCON FA Co., Ltd.



タイ人従業員が作ったKAIZENのポスター



DAIDO Press forming Co., Ltd.



現地で働く若者との会食



自由行動では象に乗る体験も！

## 参加者の「ふりかえり」から

- ・広い視野を持つことは大事だと思いました。タイでも就活できると感じた
- ・異国の地でもコミュニケーションを取ったり交通機関を利用したりできた
- ・これから海外に行くときは躊躇せずに行けると思う。この自信は大きな成長だと思った。とても勉強になったので、この研修を継続してほしい
- ・習慣、文化、考え方などいろいろな違いを受け入れることが大切。今回バンコクで出逢った人たちはみな前向きだった。
- ・日本と比べて、言葉が違う、文化が違う、生活スタイルが違う、そういうところを見て視野が確実に広がりました
- ・自分の足りないところ、必要なところを知る良い機会になったと思います
- ・海外では通じないと思っていた自分の英語が通じたので自信になった
- ・自分から話しかけたり、企業で質問したり、「自分から」という力が付いた
- ・今回の研修のように積極的に行動を起こす中でやりたいことを見つけたいと思う。語学留学して英語を学びたいと思った
- ・タイは英語が通じにくいけど英語は必ず力になると実感しました。学びたい気持ちは高まりました
- ・将来の選択に海外もあるかなと考えられた。英語力と日本語力を付けたい
- ・知らなかった世界を見て働くことの大切さや普通に生活できていることの大切さを肌で感じた
- ・ネットで調べたことや日本で聞くことと、現実に目で見ることにはギャップがあることに気が付いた。情報を鵜呑みにしてはいけない
- ・日本だけで生活していた時の世界観が小さなものだと感じた。これからいろいろな国に行ってみたい
- ・英語がそれほど上手なくてもコミュニケーションはとれることがわかった
- ・懇親会でタイで働いている人から貴重な経験談や失敗談を聞くことができた